



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月29日

上場会社名 株式会社アダストリア 上場取引所 東
コード番号 2685 URL <https://www.adastria.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 治
問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員 管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 岩越 逸郎 (TEL) 03-5466-2060
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	203,252	14.8	16,306	46.0	16,708	41.5	11,541	51.5
2023年2月期第3四半期	177,026	20.6	11,165	149.0	11,805	106.2	7,616	115.5

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 12,434百万円(47.7%) 2023年2月期第3四半期 8,419百万円(125.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	254.10	—
2023年2月期第3四半期	168.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	130,181	69,871	52.5
2023年2月期	111,392	60,762	53.3

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 68,337百万円 2023年2月期 59,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2024年2月期	—	35.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	11.3	18,000	56.3	18,200	51.3	12,000	59.1	263.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年 2 月期 3 Q	48,800,000株	2023年 2 月期	48,800,000株
② 期末自己株式数	2024年 2 月期 3 Q	3,520,708株	2023年 2 月期	3,449,391株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年 2 月期 3 Q	45,420,607株	2023年 2 月期 3 Q	45,313,566株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) ブランド・地域別売上高の状況	11
(2) 商品部門別売上高の状況	11
(3) 店舗出退店等の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績

	2023年2月期 第3四半期 連結累計期間 (2022年3月1日から 2022年11月30日まで)	2024年2月期 第3四半期 連結累計期間 (2023年3月1日から 2023年11月30日まで)	増減	増減率
売上高 (百万円)	177,026	203,252	26,225	14.8%
営業利益 (百万円)	11,165	16,306	5,141	46.0%
経常利益 (百万円)	11,805	16,708	4,902	41.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	7,616	11,541	3,924	51.5%

当第3四半期連結累計期間においては、5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行したことにより、外出需要やインバウンド需要が増加し、経済・社会活動の正常化が大きく進みました。また、所得環境の緩やかな改善などを背景に個人消費の回復傾向が続き、猛暑や残暑の影響はあったものの、ファッション関連の消費意欲は底堅さを継続しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、資源・エネルギー価格の高騰、為替の変動、国内外の物価上昇、労働力不足の進行など経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは中期経営計画において以下の成長戦略を策定し、着実に推進しております。

成長戦略Ⅰ マルチブランド、カテゴリー	ブランドの役割に応じたグルーピングによる収益改善と成長の両立
成長戦略Ⅱ デジタルの顧客接点、サービス	自社ECの成長加速と楽しいコミュニティ化
成長戦略Ⅲ グローカル	中国大陸でのモデル展開と東南アジア開拓
成長戦略Ⅳ 新規事業	飲食事業確立と新たな魅力の獲得

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が2,032億52百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益が163億6百万円（前年同期比46.0%増）、経常利益が167億8百万円（前年同期比41.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が115億41百万円（前年同期比51.5%増）となりました。

アパレル・雑貨関連事業の国内売上高については、上期から続く外出機会の増加とファッションのカジュアル化の追い風に加え、残暑や暖冬などの気候変化への適応や、トレンドに対応した商品展開、ヒット商品の育成、高付加価値化による商品価格の見直しを進めた結果、前年同期比12.7%の増収となりました。

デジタル戦略として、自社EC「ドットエスティ」のTVCMとリアル店舗を連動させた「ドットエスティフェス」などのプロモーションや、人気アーティストや他社とのコラボ商品の販売、他社商材の取り扱いによる品揃えの拡充などを進めたことで、自社ECの会員数は前期末比160万人増の1,710万人に伸ばしました。また、EC専門子会社の株式会社BUZZWITが前期第2四半期から子供服ECの株式会社オープンアンドナチュラル（現株式会社BUZZWIT）を連結子会社化したことも寄与し、EC売上高は前年同期比13.1%増となりました。

海外売上高(円換算)については、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復や新規出店の寄与などにより、前年同期比で中国大陸は91.6%、香港は29.8%、台湾は50.1%の増収となりました。特に台湾では、マルチブランド戦略に沿った新規出店が増収に寄与しました。米国では、景気の先行き不安感から第2四半期以降卸売事業が減速しましたが、期間累計では5.9%の増収となりました。海外事業全体では33.2%の増収となりました。なお、タイでは第1四半期より事業を開始しています。

その他(飲食事業)の売上高については、外食産業における原材料価格や光熱費の上昇、労働力不足など厳しい経営環境が続きましたが、人流の回復や飲食サービスへの支出の増加などにより、29.2%の増収となりました。

収益面につきましては、円安による原価上昇の影響が続きましたが、「適時・適価・適量」の商品提供による在庫コントロールと値引き販売の抑制、商品の高付加価値化、商品価値とのバランスを考慮した商品の価格見直し、生産地のASEANシフトによる製造原価の抑制により、収益性の改善を図りました。また自社ポイントの制度変更による一過性のポイント失効などの影響や、海外事業の収益性改善により、アパレル・雑貨関連事業の売上総利益率は改善しました。その他(飲食事業)においては、原価上昇の影響などにより売上総利益率が低下しましたが、連結での売上総利益率は56.7%となり、前年同期比0.3ポイント改善しました。

販売費及び一般管理費につきましては、従業員の処遇改善や売上高の伸長により、人件費、店舗家賃、カード手数料などが増加しましたが、増収効果により販管費率は48.7%と前年同期比1.4ポイント改善し、営業利益は前年同期比46.0%増と伸長しました。

また、為替差益3億3百万円を営業外収益に、店舗の減損損失1億28百万円を特別損失に計上しました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

①アパレル・雑貨関連事業

上記の状況の結果、売上高は1,932億70百万円、セグメント利益は165億82百万円となりました。

店舗展開につきましては、98店舗の出店(内、海外27店舗)、26店舗の退店(内、海外3店舗)の結果、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、1,507店舗(内、海外119店舗)となりました。

②その他(飲食事業)

その他(飲食事業)につきましては、売上高は100億19百万円、セグメント利益は1億25百万円となりました。

店舗展開につきましては、5店舗の出店、7店舗の退店の結果、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、72店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて、187億89百万円増加して1,301億81百万円となりました。これは主に、現金及び預金が15億10百万円、受取手形及び売掛金が85億89百万円、棚卸資産が64億12百万円、店舗内装設備(純額)が12億74百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、96億80百万円増加して603億9百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が31億77百万円、電子記録債務が13億50百万円、未払金が38億35百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、91億9百万円増加して698億71百万円となりました。これは主に、利益剰余金が83億45百万円、繰延ヘッジ損益が1億79百万円、為替換算調整勘定が5億87百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月29日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,380	17,890
受取手形及び売掛金	12,171	20,761
棚卸資産	24,679	31,092
その他	2,622	1,949
貸倒引当金	△81	△136
流動資産合計	55,772	71,557
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	6,000	7,275
その他(純額)	16,064	16,821
有形固定資産合計	22,065	24,096
無形固定資産		
のれん	1,331	1,164
その他	10,577	11,119
無形固定資産合計	11,908	12,283
投資その他の資産		
投資有価証券	1,108	1,176
敷金及び保証金	13,545	13,742
その他	7,289	7,622
貸倒引当金	△298	△298
投資その他の資産合計	21,645	22,243
固定資産合計	55,619	58,623
資産合計	111,392	130,181
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,280	16,457
電子記録債務	6,990	8,341
短期借入金	197	1,000
1年内返済予定の長期借入金	375	320
未払金	12,114	15,950
未払法人税等	2,970	3,751
賞与引当金	2,112	1,439
ポイント引当金	160	128
その他の引当金	779	338
その他	5,008	5,445
流動負債合計	43,989	53,171
固定負債		
長期借入金	554	507
引当金	—	124
その他	6,084	6,506
固定負債合計	6,639	7,137
負債合計	50,629	60,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	7,213	7,213
利益剰余金	55,968	64,314
自己株式	△7,286	△7,516
株主資本合計	58,555	66,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	143
繰延ヘッジ損益	△120	58
為替換算調整勘定	877	1,465
その他の包括利益累計額合計	852	1,666
非支配株主持分	1,355	1,534
純資産合計	60,762	69,871
負債純資産合計	111,392	130,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	177,026	203,252
売上原価	77,238	87,927
売上総利益	99,787	115,324
販売費及び一般管理費	88,622	99,017
営業利益	11,165	16,306
営業外収益		
為替差益	459	303
受取保険金	0	101
助成金収入	212	38
雇用調整助成金	37	—
その他	228	232
営業外収益合計	938	675
営業外費用		
支払利息	134	187
デリバティブ評価損	106	—
その他	57	85
営業外費用合計	298	273
経常利益	11,805	16,708
特別損失		
減損損失	50	128
特別損失合計	50	128
税金等調整前四半期純利益	11,754	16,580
法人税、住民税及び事業税	4,371	5,424
法人税等調整額	△530	△463
法人税等合計	3,841	4,960
四半期純利益	7,913	11,619
非支配株主に帰属する四半期純利益	297	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,616	11,541

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	7,913	11,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	47
繰延ヘッジ損益	△283	179
為替換算調整勘定	702	587
その他の包括利益合計	505	814
四半期包括利益	8,419	12,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,000	12,263
非支配株主に係る四半期包括利益	419	170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社オープンアンドナチュラルは、2023年7月1日付で、当社の連結子会社である株式会社BUZZWITを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社の連結子会社であるZETTON, INC. (米国)は、2021年3月に制定された、米国救済計画法(American Rescue Plan Act of 2021)に基づくレストラン活性化基金(Restaurant Revitalization Fund: RRF)設立に伴い2021年5月に受給した820万米ドルに関して、米国中小企業庁(The U.S. Small Business Administration)より、受給資格の正当性について調査を受けております。

当社グループは、受給資格の正当性について、引き続き当局に対して説明を続けていくものの、今後の進捗によっては当社グループの業績に影響を与える可能性があります。現時点において当社グループの業績への影響を見積もることは困難であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	169,301	7,725	177,026	—	177,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	25	26	△26	—
計	169,302	7,750	177,053	△26	177,026
セグメント利益	11,638	167	11,805	—	11,805

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	193,268	9,983	203,252	—	203,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	35	37	△37	—
計	193,270	10,019	203,289	△37	203,252
セグメント利益	16,582	125	16,708	—	16,708

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域		当第3四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
	グローバルワーク	38,178	18.8	14.1
	ニコアンド	24,671	12.1	12.5
	スタディオクリップ	16,670	8.2	10.6
	ローリーズファーム	16,667	8.2	4.6
	レブシム	10,114	5.0	7.0
	ジーナシス	8,994	4.4	11.9
	ベイフロー	7,912	3.9	4.7
	ラコレ	7,886	3.9	38.8
	その他	27,704	13.6	8.8
当社 計		158,800	78.1	11.4
株式会社BUZZWIT (注) 3		9,166	4.5	33.7
株式会社エレメントルール		8,322	4.1	11.2
その他連結子会社		714	0.4	327.9
国内合計		177,004	87.1	12.7
	香港	2,995	1.5	29.8
	中国大陸	3,012	1.5	91.6
	台湾	4,381	2.1	50.1
	タイ	146	0.1	—
	米国	5,727	2.8	5.9
海外合計		16,264	8.0	33.2
アパレル・雑貨関連事業合計		193,268	95.1	14.2
株式会社ゼットン (注) 4		9,768	4.8	33.8
株式会社ADASTRIA eat Creations		215	0.1	△49.3
その他(飲食事業)合計		9,983	4.9	29.2
グループ合計		203,252	100.0	14.8

(注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。

2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。

3. 株式会社BUZZWITの売上高は、同社の連結子会社であった株式会社オープンアンドナチュラルを含めて集計しております。なお、2023年7月1日付で、株式会社BUZZWITを存続会社、株式会社オープンアンドナチュラルを消滅会社とする吸収合併を実施しております。

4. 株式会社ゼットンの売上高は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。

(2) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第3四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	32,240	15.9	20.2
レディース(ボトムス・トップス)	123,080	60.6	13.2
雑貨・その他	47,931	23.5	15.7
合計	203,252	100.0	14.8

(注) 1. 雑貨・その他は、契約負債の計上額やポイント引当金繰入額等が含まれております。

2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。

(3) 店舗出退店等の状況

ブランド・地域		店 舗 数					
		前連結 会計年度末	当第3四半期連結累計期間				当第3四半期 連結累計期間末
			出店	変更	退店	増減	
	グローバルワーク	205	13	—	△3	10	215
	ニコアンド	141	2	—	△1	1	142
	スタディオクリップ	174	8	—	△3	5	179
	ローリーズファーム	129	2	—	△2	—	129
	レプシム	114	2	—	△1	1	115
	ジーナシス	71	—	—	—	—	71
	バイフロー	61	2	—	△1	1	62
	ラコレ	63	12	—	—	12	75
	その他	264	10	—	△6	4	268
当社 計		1,222	51	—	△17	34	1,256
株式会社BUZZWIT (注) 3		29	4	—	△2	2	31
株式会社エレメントルール		81	9	—	△4	5	86
その他連結子会社		8	7	—	—	7	15
国内合計		1,340	71	—	△23	48	1,388
	香港	21	4	—	△2	2	23
	中国大陸	13	1	—	—	1	14
	台湾	52	20	—	△1	19	71
	タイ	—	1	—	—	1	1
	米国	9	1	—	—	1	10
海外合計		95	27	—	△3	24	119
アパレル・雑貨関連事業合計		1,435	98	—	△26	72	1,507
株式会社ゼットン (注) 4		71	5	—	△4	1	72
株式会社ADASTRIA eat Creations		3	—	—	△3	△3	—
その他(飲食事業)合計		74	5	—	△7	△2	72
グループ合計		1,509	103	—	△33	70	1,579

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。
3. 株式会社BUZZWITの店舗数は、同社の連結子会社であった株式会社オープンアンドナチュラルを含めて集計しております。なお、2023年7月1日付で、株式会社BUZZWITを存続会社、株式会社オープンアンドナチュラルを消滅会社とする吸収合併を実施しております。
4. 株式会社ゼットンの店舗数は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。